

高等学校国語教育研究発表・研究一覧

[令和4(2022)年度]

【話すこと・聞くこと】

領域の分類	教材の分類	執筆者の所属		氏名	タイトル	内容	発行年月日	収録冊子名	冊子発行者	記事の分類
話すこと 聞くこと	現代文	(公)	埼玉	県立 草加高等学校	関一樹	社会で求められるコミュニケーション力を育てるー教室の学びを深めるコミュニケーション活動ー	2021/5/10	月刊国語教育研究 No589	日本国語教育学会	実践報告
話すこと 聞くこと	現代文	(公)	千葉	県立 船橋高等学校	宮崎春菜	水平型の学習活動で読書生活を豊かにする試みーポップの作成と紹介を通じてー	2021/7/10	月刊国語教育研究 No591	日本国語教育学会	実践報告
話すこと 聞くこと	現代文	(私)	東京	世田谷学園中学・ 高等学校	平沼一翔	アクティブ・ラーニングの活動時代を評価する「リスニング・テスト」の実践	2022/1/10	月間国語教育研究 No597	日本国語教育学会	実践報告
話すこと 聞くこと	現代文	(私)	東京	早大高等学院	金巻秀樹	社会生活に必要な国語力を高めるための文章紹介 プレゼンテーションの可能性	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
話すこと 聞くこと	現代文	(私)	東京	富士見丘中学高等 学校	坂口陽子	「話すこと・聞くこと」の活動を取り入れた効果的な授業実践についての考察	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
話すこと 聞くこと	現代文	(国)	東京	東京学芸大学付属 高等学校	森安惟澄	コロナ禍における話し合い活動	2021/4/10	月刊国語教育研究 No588	日本国語教育学会	実践報告
話すこと 聞くこと	現代文	(私)	東京	拓殖大学第一高等 学校	遠山大樹	語彙指導に「ちょっとした」言語活動をー高等学校教育においてー	2021/8/10	月刊国語教育研究 No592	日本国語教育学会	実践報告
話すこと 聞くこと	現代文	(私)	東京	学習院女子中等 科・高等科	深澤克俊	ICTを活用した読みを深める話し合い活動ー『羅生門』での実践を通してー	2021/9/10	月刊国語教育研究 No593	日本国語教育学会	実践報告
話すこと 聞くこと	現代文	(公)	神奈川	県立 多摩高等学校	石原徳子	ICTを活用した対話的な授業ーパソコンが苦手な国語教員の実践報告ー	2021/8/10	月刊国語教育研究 No592	日本国語教育学会	実践報告
話すこと 聞くこと	現代文	(公)	長野	県 軽井沢高等学校	北村卓也	ICTを活用による学習者が言葉を実感する試み	2021/8/10	月刊国語教育研究 No592	日本国語教育学会	実践報告

【話すこと・聞くこと】

話すこと 聞くこと	漢文	(公)	東京	都立 江戸川高等学校	下西美穂	学びによる変容を可視化する —OPPシートを用いた自己評 価—	高校二年生を対象にした『鴻門之会』四面楚 歌』を扱った授業で、OPPAを活用した漢文 の実践報告。	2021/5/10	月刊国語教育研究 No589	日本国語教育学 会	実践報告
話すこと 聞くこと	その他	(公)	熊本	県立 玉名高等学校	斉藤知晴	自己の考えの更新につなげる 対話の実践	生徒が、他者の発話を受け止めながら、自己 の考えの更新につなげられるような対話能力 を身に付けさせることを目指した授業の実践 報告。	2021/10/8	くまもと国語研究紀 要 第55号	熊本県高等学校 教育研究会	実践報告

【書くこと】

書くこと	現代文	(公)	茨城	県立 水戸第一高等学校	森朋恵	「書くこと」の目的を考える — 高等学校第二学年「評論文」 単元での工夫—	『アイデンティティの混交性』『衣服という言葉』 という二つの評論文を教材とした授業で、単 元の最初と最後に目的の異なる「書く」活動を行 った実践報告。	2021/6/10	月刊国語教育研究 No590	日本国語教育学 会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	栃木	県立 宇都宮南高等学校	石野雄基	自己評価の精度を高める～ 意見文の評価を通して～	評論教材を用いて「主体的に学習に取り組む 態度」育成の一環として、「自宅学習」と「自己 評価への評価」が効果的かを検討する実践 報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校 教育研究会 国語 部会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	栃木	県立 栃木商業高等学校	冥加康成	主体性を客観的に見る観点別 学習状況の評価の工夫	茂木健一郎「最初のペンギン」の内容を踏ま えながら、SDGsについて情報を収集・吟味 し、自分との関りを考える授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校 教育研究会 国語 部会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	栃木	県立 烏山高等学校	福田康平	読書感想文を利用した書くこ との指導と観点別学習状況の 評価の工夫	次期学習指導要領の「現代の国語」を想定し、 ルーブリックに沿って読書感想文を書く授 業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校 教育研究会 国語 部会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	埼玉	県立 進修館高等学校	茂手木未来	現代短歌を題材とした「書くこ と」の指導	現代短歌を鑑賞し、それに対する感想文を生 徒同士で互いに共有する活動を通して、自分 が書いた文章に対する意識を向上させ「書く」 力を高める授業の実践報告。	2021/10/10	月間国語教育研究 No594	日本国語教育学 会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	埼玉	県立 進修館高等学校	茂手木未来	現代短歌を題材とした「書くこ と」の指導	現代短歌を鑑賞し、それに対する感想文を生 徒同士で互いに共有する活動を通して、自分 が書いた文章に対する意識を向上させ「書く」 力を高める授業の実践報告。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学 会	発表
書くこと	現代文	(私)	東京	共立女子中学高等 学校	園部泉子	情報社会を創造的に生き抜く ための「創作」学習	メディアリテラシーとアート思考を組み合わせ る手法を用いて、情報社会における生徒の感 性を育み、言語化の能力を養う短歌の創造学 習の実践報告。	2021/12/10	月間国語教育研究 No596	日本国語教育学 会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	東京	都立 上野高等学校	上村文人	先行研究の比べ読みをして小 論文を書こう	学習者が内面化した倫理観で登場人物を断 罪しがちな「こころ」の学習を、先行研究や他 作品との比べ読みを促すことで視点や人間性 の深化を試みた授業実践報告。	2022/3/10	月間国語教育研究 No599	日本国語教育学 会	論文
書くこと	現代文	(公)	東京	都立 城東高等学校	田中拓也	コロナ禍における生徒の短歌 作品から浮かび上がるもの	コロナ禍における生徒の日常の変化と、そ こに連動した生徒自身の考え方の変化を、コ ロナ禍における生徒の短歌作品に表れた語句 や短歌の選評から考察する。	2022/3/30	日本現代詩歌研究 第十五号	日本現代詩歌文 学館	論文
書くこと	現代文	(公)	富山	県立 雄峰高等学校	池田はるな	生徒の多様な実態に応じた授 業～学校設定科目を活かした 実践～	多様な実態をもつ生徒を対象に、常用漢字の 読み書きや平易な文章の読み取り、テーマに あわせて作文を書くことができることを目標と した授業の実践報告。	2022/2/20	研究紀要 第六十号	富山県高等学校 教育研究会	実践報告

【書くこと】

書くこと	現代文	(公)	岐阜	県立 大垣北高等学校	早野賢謙	要約方略習得に向けた授業 実践に関して	要約産出方略の手法を用いて、「読むこと」及び「書くこと」の両面に迫った要約指導を行い、多面的な要約力を身につけることを目指した授業の実践報告。	2021/12/10	月間国語教育研究 No596	日本国語教育学会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	兵庫	県立 武庫川総合高等学校	勝部尚樹	多様な評価方法を組み合わせた探究へのステップ	学習評価を生徒の資質・能力を伸ばすためのものと捉え、多様な評価方法を組み合わせながら生徒自身のメタ認知能力を育む授業の実践報告。	2021/10/10	月間国語教育研究 No594	日本国語教育学会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	兵庫	県立 宝塚北高等学校	藤田遼	新学習指導要領「書くこと」に関する指導の一試案―生徒が「文章の種類」や「文体」を「工夫」して書くために―	「文章の種類」や「文体」を「工夫」して創造的に文章を書くことを目標とする授業実践の提案と、その成果と課題。	2022/3/31	兵庫国漢 第六十八号	兵庫県高等学校教育研究会国語部会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	兵庫	県立 猪名川高等学校	酒井翼	国語と現実の結びつき ―論理国語を見据えて―	「世界で起っていることを自らの経験に引き付けて考え、自分が思うことを表現する」という授業で、自らの考えを論理的に表現する力を育むための実践報告。	2021/5/10	月刊国語教育研究 No589	日本国語教育学会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	徳島	県立 脇町高等学校	茅野克利	書く目的と場を必然性あるものにする ―「読むこと」の授業を通して―	高校二年性を対象にした『走れメロス』を批判的に読み直す授業で、「書くこと」の充実を図った実践報告。	2021/6/10	月刊国語教育研究 No590	日本国語教育学会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	愛媛	県立 今治西高等学校	山岡万里子	書くための情報収集と整理	「読むために書く」学習のために、ICTを用いて学習を可視化しながら構成や論理の展開を意識させる授業の実践報告。	2021/10/10	月間国語教育研究 No594	日本国語教育学会	実践報告
書くこと	現代文	(公)	佐賀	県立 佐賀西高等学校	副島良太郎	『書く』までの過程を構造化し、的確な文章にまとめる『技術』を習得させる指導	県教委主催の研究会において、大学入学共通テストのプレテスト、試行問題を分析し、そこで求められている資質・能力を養うための授業設計についてまとめた。	2022/2/15	国語さが 第60集	国語部会事務局	論文
書くこと	古文	(私)	東京	富士見丘中学高等学校	坂口陽子	言語文化-主体的・効果的な学びに繋がる授業開発	歌物語を古文で創作することを通して、古文の内容のみならず助動詞をはじめとした文法の面白さも主体的に学ぶことが可能になる授業の提案。	2022/3/10	月間国語教育研究 No599	日本国語教育学会	論文
書くこと	古典	(公)	香川	県立 香川中央高等学校	十川美保	授業研究 香川の方言について	香川の方言について情報を収集し、分析してレポートにまとめ、討論を通して考えを深める授業の実践報告。	2022/3/15	国語 七四号	香川県立高等学校教育研究会国語部会	実践報告
書くこと	国語表現	(公)	茨城	県立 釜崎高等学校	南陽子	根拠を適切に示して伝えたいことを明確に書く力を育てる国語科学習指導のあり方―高等学校第1学年『紹介文を書く』におけるフレームワークシートを活用したおすすめのものを紹介する文章作成を通して―	「紹介文を書く」におけるフレームワークシートを活用したおすすめのものを紹介する文章作成を通して根拠を適切に示して自分の考えを明確に書く力を育てる。	2022/3/30	紀要 第58号	茨城県高等学校教育研究会国語部	実践報告
書くこと	その他	(公)	熊本	天草拓心高等学校	成田愛美	「書くこと」に対する苦手意識克服を目指した授業実践	2学年の生徒が1年間を通して、苦手意識や抵抗感を克服し、進路実現に必要な「書く」力の基礎を身に付けることを目指した授業の実践報告。	2021/10/8	くまもと国語研究紀要 第55号	熊本県高等学校教育研究会	実践報告

【読むこと】

読むこと	現代文	(公)	山形	県立 坂田東高校	廣瀬辰平	「読むこと」における生徒のつまずきを改善する単元の構成	PMIやXYチャートなどのシンキングツールを用いて、「メディアと身体」の読みにおける生徒同士の気づきの伝播を促す授業の実践報告。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
読むこと	現代文	(公)	茨城	県立 水戸第二高等学校	高橋夏海	叙述を基に的確に論理の展開を捉える力を育てる国語科学習指導の在り方ー第1学年『現代の国語』における知識構成型ジグソー法を通してー	「現代の国語」評論文読解における知識構成型ジグソー法を通して、叙述を基に的確に論理展開を捉える力を育てる。	2022/3/30	紀要 第58号	茨城県高等学校教育研究会国語部	実践報告
読むこと	現代文	(公)	栃木	県立 黒羽高等学校	津村愛	考えを深化させることを目指した俳句解釈の授業実践と観点別学習状況の評価の工夫	俳句教材を用いて、次期学習指導要領の「文学国語」を想定した観点別学習状況の評価を用いた授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校教育研究会 国語部会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	栃木	県立 宇都宮女子高等学校	伊澤亮太	「読むこと」の育成を目指した「名人伝」での観点別学習状況の工夫	中島敦『名人伝』をアニメ「不射之射」との比較を通して小説表現の特性について考え、読解を深める授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校教育研究会 国語部会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	栃木	県立 真岡高等学校	小林巧	構成に着目して読む能力の育成を目指した評論文での観点別学習状況の評価の工夫	山極寿一「暴力はどこからきたか」の本文全体を踏まえ、構成や展開を文章で説明する活動を取り入れた授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校教育研究会 国語部会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	栃木	県立 那須清峰高等学校	本嶋佑己	多様な解釈を考察する力の育成を目指した「夢十夜」での観点別学習状況の評価の工夫	生徒自ら考察したい点を設定し、本文の表現に即した上で自分なりの解釈を作り上げる活動を中心に置いた授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校教育研究会 国語部会	実践報告
読むこと	現代文	(私)	東京	拓殖大第一高	遠山大樹	「読むこと」の遠隔授業で促す「主体的・対話的で深い学び」	一方的な情報伝達になりがちなコロナ禍の遠隔授業に双方向性を持たせることを目的に、ブレイクアートルームやフォームを活用した授業の実践報告。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
読むこと	現代文	(公)	新潟	県立 小出高等学校	神田富士男	百年はいつ来たのか？『夢十夜』『第一夜』(夏目漱石)の授業研究から ICTを活用した授業へ	夏目漱石『夢十夜』『第一夜』において「百年はいつ来たのか」を大問として、GoogleClass roomの質問機能を用いて読みを深める実践報告。	2022/3/1	国語研究 第六十八集	新潟県高等学校教育研究会国語部会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	新潟	県立 新潟県中央工業高等学校	井上聡子	『羅生門』における現象学的考察	『羅生門』をJanboardやGoogleスライドを活用しながら、現象学的に考察していく授業の実践報告。	2022/3/1	国語研究 第六十八集	新潟県高等学校教育研究会国語部会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	富山	県立 高岡工芸高等学校	林頼輝	国語科の指導におけるICTの活用	生徒1人につき1台のタブレット端末が導入されたことにより、デジタル教科書の内容を画面共有することで、生徒の学びを深めようとした試み。	2022/2/20	研究紀要 第六十号	富山県高等学校教育研究会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	岐阜	県立 大垣北高等学校	早野賢謙	要約方略習得に向けた授業実践に関して	4つの要約方略の手法を用いて学習者に効果的なパラフレーズの方略を身につけさせ、言葉を相手によって変化させる必要性を学ぶ授業の成果の報告。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
読むこと	現代文	(私)	愛知	愛知教育大学附属 高等学校	横井健	文学的な文章を読み深めるための学習指導	「羅生門」と『今昔物語集』の読み比べを通して作品の解釈の深まりを実感させ、文学的な文章が育成する資質・能力と教材の可能性について述べた実践報告。	2021/11/10	月間国語教育研究 No595	日本国語教育学会	実践報告

【読むこと】

読むこと	現代文	(公)	愛知	県立尾北高等学校	松下貴秀	国語科におけるICTの実践報告	ICTを効果的に活用した反転学習を行うことで主体的に読み取る力を育成することを目標とした授業実践の成果と課題についての報告。	2022/3/31	国語教育研究誌 第五十七集	愛知県国語教育研究会高等学校部会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	大阪	府立北野高等学校	榊井英人	構想と実践	益田勝実論を援用しつつ、生徒の実態に合わせた教材開発を説く。「現代の国語」と「言語文化」をつなげる授業開発の提案。	2021/12/10	月間国語教育研究 No596	日本国語教育学会	論文
読むこと	現代文	(公)	兵庫	県立西脇北高等学校	宮脇昌一	小説『高瀬舟』考一人情家「同心庄兵衛」と「オオトリテエ」	小説『高瀬舟』における「オオトリテエ」の解釈に注目しながら、喜助に「毫光」を見た庄兵衛を焦点化し、作品全体を眺め直す。	2022/3/31	兵庫國漢 第六十八号	兵庫県高等学校教育研究会国語部会	論文
読むこと	現代文	(公)	兵庫	県立香寺高等学校 県立猪名川高等学校	菅田典秀 谷水冴綺	「深い学びを導き出すために効果的なICT機器の活用」を目指した授業研究	これまでの授業の手間となることをICT機器によって簡略化することや、より発展させるための手法を考案することを目的として行った授業の実践報告。	2022/3/31	兵庫國漢 第六十八号	兵庫県高等学校教育研究会国語部会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	広島	県立三次高等学校	辻尚美	批評する力を育成する文学的文章の学習指導 -『羅生門』の「批評文コーパス教材」を活用した『檸檬』の授業-	高校三年生を対象にした『檸檬』の授業において、「批評文コーパス教材」を用いて、学習者に「批評する力」を育成する学習指導方法の提案。	2021/9/10	月刊国語教育研究 No593	日本国語教育学会	実践報告
読むこと	現代文	(公)	福岡	県立玄界高等学校	竹下克則	『羅生門』は中間考査の試験範囲 2時間目	散文。『羅生門』第3段落を扱った授業風景が描かれる。教師の発問に答えながら、生徒が『下人とネット社会』の共通点に気付いていく。	2021/6/29	国語研究つくし野 第44号	福岡県高等学校国語部会福岡地区	その他
読むこと	現代文	(公)	佐賀	県立佐賀西高等学校	横尾絵梨	国語科(国語総合)学習指導案	『羅生門』指導案を提示し、第6時「下人の心に生まれた『勇氣』」について理解する。	2022/2/15	国語さが 第60集	国語部会事務局	実践報告
読むこと	現代文	(公)	熊本	県立小国高等学校	星田泰輔	「文章の種類」や「書かれた目的」を意識させる授業づくり	実生活・実社会で発揮される「読む力」を育むために、「文章の種類」や「書かれた目的」を意識させて読解法を選択し、活用できる力の育成を目指した授業実践。	2021/10/8	くまもと国語研究紀要 第55号	熊本県高等学校教育研究会	実践報告
読むこと	古文	(公)	福島	県立磐城高等学校	坂本優	単元学習「和本の世界」の可能性 -読書指導の一つの試みとして-	進学校における受験指導と融合させた読書活動の授業で、古典作品を実物の和本で読み深めることを通して伝統的な言語文化を味わい深めた実践報告。	2021/7/10	月刊国語教育研究 No591	日本国語教育学会	実践報告
読むこと	古文	(公)	茨城	県立伊奈高等学校	鳥羽田由佳	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する力を育む国語科学習指導の在り方～第1学年言語文化『伊勢物語』和歌に詠まれる心情を想像し、評価することを通して作品の内容について批評する活動を通して～	言語文化『伊勢物語』第六段「芥川」の和歌の心情を想像し、評価することを通して作品の内容について批評する活動を通して内容を解釈する力を育てる。	2022/3/30	紀要 第58号	茨城県高等学校教育研究会国語部	実践報告
読むこと	古文	(公)	茨城	県立牛久栄進高等学校	人見正敏	表現に即して心情を読み味わう国語科(古典)における学習指導	伊勢物語「筒井筒」と大和物語「鹿の声」の比べ読みを行い、グループでの意見交換をする活動を通して表現に即した登場人物の心情を味わう授業の実践報告。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
読むこと	古文	(公)	栃木	県立壬生高等学校	宇賀神茜	古典探求における作成物と評価についての一考察	『史記』『鴻門之会』の内容をパンフレット形式でまとめ、言語活動により読解を深める授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校教育研究会 国語部会	実践報告

【読むこと】

読むこと	古文	(公)	栃木	県立 佐野高等学校	横山幸央	読むことの育成を目指した「源氏物語」での観点別学習状況の評価の工夫	『源氏物語』『夕顔』に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書にまとめたりする活動を取り入れた授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校 教育研究会 国語 部会	実践報告
読むこと	古文	(公)	栃木	県立 那須拓陽高等学校	宮澤恵	「読む力」の育成を目指した『平家物語』での観点別学習状況の評価の実践	読み比べを通して、表現の違いやその効果について考察したことをレポートにまとめ、ルーブリックに沿って自己評価をする授業の実践報告。	2022/3/31	国語 教育と研究 第六十号	栃木県高等学校 教育研究会 国語 部会	実践報告
読むこと	古文	(公)	群馬	県立 太田工業高等学校	清田多恵子	国語総合において、人物像の着目して古典文学に親しみをもてる生徒の育成	「絵仏師良秀」をキャラクター分析表作成という活動を通して読むことで、人物像について考えさせる授業の実践報告。	2021/3/1	上毛国語 第八十六 号	群馬県高等学校 教育研究会国語 部会	実践報告
読むこと	古文	(公)	東京	都立 大泉高等学校	玉腰朱里	国際理解教育から見る古典学習の重要性	異なる文化を持つ人々を自分事として捉えるために、『万葉集』を通じて多文化の融合や普遍的な人間性について学習する授業の実践報告。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学 会	発表
読むこと	古文	(公)	新潟	県立 堀之内高等学校	高橋正明	中高連携の立場から見た東京帝大生の軌跡―目崎徳衛先生の青春時代8―	旧制小千谷高等学校の卒業生である目崎徳衛が帝大生の時に『史学雑誌』寄稿した論文「歌意考について」の第六章を読み解く。	2022/3/1	国語研究 第六十八 集	新潟県高等学校 教育研究会国語 部会	論文
読むこと	古文	(公)	新潟	県立 新潟高等学校	帆苺智子	説話教材における対話的で深い学び	『古今著聞集』『刑部卿敦兼の北の方』を用いて、貴族の教養の重要性を学ばせる授業の実践報告。	2022/3/1	国語研究 第六十八 集	新潟県高等学校 教育研究会国語 部会	実践報告
読むこと	古文	(私)	京都	京都先端科学大学 附属高等学校	伊吹佑希子	『源氏物語』の古文と現代語訳の比較から言語感覚を磨く授業実践	『源氏物語』の古文と複数の現代語訳を比較する活動を通して、生徒の言語感覚を磨く授業の実践報告。	2022/1/10	月間国語教育研究 No597	日本国語教育学 会	実践報告
読むこと	古文	(公)	兵庫	県立 武庫荘総合高等学校	川端優樹	紫式部についての小考―複数テキストを用いた授業への一試論―	紫式部と清少納言の背後関係をもとに、『枕草子』や『源氏物語』、『大鏡』等の複数テキストを使用した問い立てを試みる。	2022/3/31	兵庫國漢 第六十八 号	兵庫県高等学校 教育研究会国語 部会	論文
読むこと	古文	(公)	兵庫	県立 猪名川高等学校 他3校	酒井翼 他3名	「古典と一人一台端末」～和歌の解釈を通して～	古典分野におけるICT機器活用を通して、「和歌の解釈」を共通項とし、活動と内容の両方が充実するための方法を検討した授業実践の報告。	2022/3/31	兵庫國漢 第六十八 号	兵庫県高等学校 教育研究会国語 部会	実践報告
読むこと	古文	(公)	香川	県立 香川中央高等学校	柳生嘉代子	研究授業 学習指導案「古典B」思想 儒家	「人の性」(性善説、性悪説)について異なる立場で書かれた漢文を比較読みし、思想の内容をとらえる授業の実践報告。	2022/3/15	国語 七四号	香川県立高等学 校教育研究会国 語部会	実践報告
読むこと	古文	(公)	福岡	県立 北筑高等学校	黒岩淳	連歌を位置づける韻文の単元学習	座の文学である連歌を古典の授業で用いることで、生徒同士の共同学習を図りながら韻文の文学史や季節に対する美意識を身につける授業の提案。	2022/3/10	月間国語教育研究 No599	日本国語教育学 会	論文
読むこと	古文	(公)	佐賀	県立 佐賀西高等学校	牛島裕子	国語科(国語総合)学習指導案	『源氏物語』『若紫』指導案を提示し、第2次「源氏の、若紫(少女)に心惹かれる様子を把握する」	2022/2/15	国語さが 第60集	国語部会事務局	実践報告

【言語事項】

言語事項	現代文	(私)	京都	立命館中学校・高等学校	内田剛	「ジョーク・テスト」を用いて、多角的視点・柔軟な思考を獲得する	「ジョーク・テスト」の手法を用いて、ユーモアの構造について学習しつつ多角的な視点や柔軟な思考を獲得することを目指した授業の提案。	2022/3/10	月間国語教育研究 No599	日本国語教育学会	論文
言語事項	現代文	(公)	宮崎	県立宮崎海洋高等学校	野元博子	体験の共有化を図る国語科の授業作り	体験学習を言語化し、短歌として再構成する活動を通して自己表現能力の向上を身につける授業の実践報告。	2022/1/10	月間国語教育研究 No597	日本国語教育学会	実践報告
言語事項	古文	(公)	福岡	県立福岡魁誠高等学校	石橋誠	「が」「の」は格助詞？－文法的意味の統一的説明－	「の」「が」をそれぞれ考察する。日本の古典語が格による客観的構造を持つ西洋の言語とは異なり、話者の内からの視座による認識の羅列であると述べる。	2021/6/29	国語研究つくし野 第44号	福岡県高等学校国語部会福岡地区	論文
言語事項	国語表現	(公)	茨城	県立取手第一高等学校	篠原文子	ICTを活用した授業及び動画作成を終えて	ICT活用を通じて生徒がアンケートフォームを通じて感想や疑問点を電子黒板に写すなど国語力向上をはかる。	2022/3/30	紀要 第58号	茨城県高等学校教育研究会国語部	実践報告
言語事項	その他	(私)	佐賀	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校	本告豊	実践的な国語力向上を目指した『日本語検定』の取組	衛生看護科の生徒へ言葉使いや実習日誌を書く上で必要な日本語能力の向上をはかるため日本語検定を導入した。その成果の発表。	2022/2/15	国語さが 第60集	国語部会事務局	論文

【その他】

その他	古文	(公)	佐賀	県立佐賀西高等学校	今泉まゆみ	(古典の授業における)主体的学びを促す評価のありかた	「主体的学び」の本質に迫り、学びへ向かう仕掛けをつくるための教材選定や、「学びのプラン」提示、チェックシートなどを検討、実施した。	2022/2/15	国語さが 第60集	国語部会事務局	論文
その他	古文	(公)	熊本	県立北稜高等学校	後藤智子	「思考力・判断力・表現力等」の育成～「比較」から広がる「思考」の世界～	複数の作品を用いて、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3領域の言語活動に取り組ませながら、「思考力・判断力・表現力」等の育成を目指す。	2021/10/8	くまもと国語研究紀要 第55号	熊本県高等学校教育研究会	実践報告
その他	その他	(公)	栃木	県立宇都宮北高校	笠原紀昭	実社会に役立つ国語の力をどう育てるか	社会人体験研修の経験から、実社会で活用できる力を育てるにあたり、目的と意味を意識させた丁寧な学習活動が必要になるという提言。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
その他	その他	(私)	東京	早稲田大学高等学院	榎本隆之	ハイブリット型授業の可能性	ゲーグルフォーム等のメディアを授業で活かす実践を中心に紹介しつつ、国語科におけるハイブリット型授業の可能性について考察する。	2021/11/10	月間国語教育研究 No595	日本国語教育学会	論文
その他	その他	(私)	東京	神田女学園中高	篠川俊太郎	社会で役立つ国語力をどう育てるか	国語の言語的な側面を理解し、聞き手を意識した説得的表現力を養うことが社会で役立つ国語力の養成に必要であるという提言。	2022/2/10	月間国語教育研究 No598	日本国語教育学会	発表
その他	その他	(公)	熊本	県立第二高等学校	高濱俊彦	「新学習指導要領に応じた学習評価」について考える	新学習指導要領改訂に伴う観点別評価について述べる。中学校の実践例に基づく評価の在り方、「主体的に学習に取り組む態度」の評価の在り方等について触れる。	2021/10/8	くまもと国語研究紀要 第55号	熊本県高等学校教育研究会	論文